

『だいじなものって いうのは 見えないんだ』

昨年、年上の友達に朗読してみたら、と勧められたのが「星の王子さま」でした。小さい頃に読んだ記憶はあるけれど、内容をあまり覚えていないまま、絵本だと油断して読んだら、ものすごく突き刺さるたくさんの言葉たちに、共感したり、励まされたり、勇気をもらったりしました。

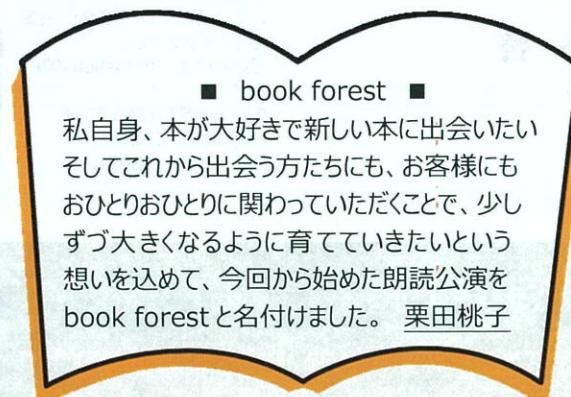
ここに至るまでに、いくつもの出会いや別れ、そして、いいことも悪いこともひっくるめて、様々な経験を重ねてきた「大人」の方にこそ、「星の王子さま」の言葉たちが、心に響くのではないかと思います。

演出の鶴山さんをはじめ、私が一緒に仕事をさせて頂きたい方たちにお声がけして、有難いことに皆さまご快諾下さり、朗読「星の王子さま」を立ち上げることができました。幸せすぎます。また、武蔵浦和コミュニティセンターの職員の方々には、細やかなお気遣いとご配慮を頂き、御礼申し上げます。

そして、本日いらして下さいました皆さま、本当に有難うございます。

終演後に、身近にいる大事な人、一緒に暮らしている動物、大切に育てている植物たちなどを、ちょっとでも想って頂けたら、嬉しいです。

栗田桃子



- ◆専門家が創る本格的なアートに触れる機会を作り、舞台を通じて生きていく上で大切なメッセージを伝えます。
- ◆人の心を動かす舞台を鑑賞することから得る感動のエネルギーで笑顔の輪を広げていく事業を実施します。



朗
読
の

星
の
王
子
さ
ま

アントワーヌ・ド・サン=テグジュベリ作

大久保ゆう訳

「あのときの王子くん」より



演出 / 鶴山 仁 (文学座)

出演 / 栗田桃子 (文学座)

美術: 長田佳代子
音響: 丸田裕也(文学座)
宣伝美術: 日下明

音楽: 国広和毅
照明: 阪口美和 (文学座)
映像: 浦島啓

2023年 6月 11日(日)14:00 開演
武蔵浦和コミュニティセンター 多目的ホール(サウスピア 9F)

サン=テグジュペリという作家は僕にとって、とても謎めいた存在でした。しかしその謎が、年を経てすこし解けてきたような気がします。

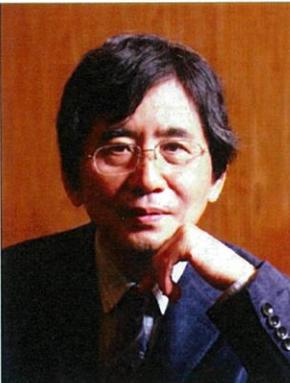
彼の代表作『星の王子さま』には、勿論ファンタジーや愛があふれているけれど、その魅力と危険の核心は、実は「死」への恐れと憧れにあることが、実感できるようになりました。

わざらいや愚かしさ、懐かしい騒音に満ちたこの世と、死＝永遠へつながる、静謐な星の世界。この二つの世界の緊張関係こそが他でもない、われわれの生きるエネルギーなのだという作者の哲学が、しみじみと伝わってきます。

今回の旅の引率者、栗田桃子さんとは、文学座という劇団の同志で、もうずいぶん長い付き合いになります。相変わらずかたくなな子供心と、ついさつき、王子さまの星から帰ってきたんだと言わんばかりの表現力で、サンテグジュペリの世界を丸ごと手繰り寄せるライブ・パフォーマンスを見てくれるだろうと、楽しみにしています。

演出 / 鵜山 仁（文学座）

《 Profile 》



演出・鵜山 仁（文学座）
うやま ひとし

<プロフィール>
1989年第39回芸術選奨新人賞を始め、読売演劇大賞、紀伊國屋演劇賞など受賞多数。
2020年紫綬褒章、毎日芸術賞受賞



出演・栗田 桃子（文学座）
くりた ももこ

<プロフィール>
2008年第8回朝日舞台芸術賞 寺山修司賞
2010年第45回紀伊國屋演劇賞受賞
今回、衣装製作も担当



音楽・国広和穀

<プロフィール>
作詞/作曲家ボーカリストギタリスト
2022年第29回読売演劇大賞優秀スタッフ賞受賞
音楽のジャンルだけでなく音楽というボーダー自体を超えた自由かつストロングな作曲と演奏で異彩を放つ



美術・長田佳代子

<プロフィール>
2010年第37回伊藤煮朔賞新人賞
2012年第39回伊藤煮朔賞
2022年第29回、2023年第30回2年連続で読売演劇大賞優秀スタッフ賞受賞
栗田氏とは代表作「炎アサンディ」「岸リトル」「森フォレ」文学座「弁明」などを共にする

照明・阪口美和（文学座）

音響・丸田裕也（文学座）

映像・浦島 啓



『星の王子さま』

フランス語原題:Le Petit Prince、英語: The Little Prince)
フランス人の飛行士・小説家であるアントワース・ド・サン=テグジュペリの小説です。彼の代表作であり、1943年にアメリカで出版されました。

初版以来、200以上の国と地域の言葉に翻訳されています。

